

研究調査運営委員会レポート

◆調査専門委員会および協同研究委員会 委員の公募◆

委員会名 【技術委員会】		自動車用モータの最新技術協同研究委員会 【自動車技術委員会】	委員会での調査・検討項目の概要, 委員長のメッセージ等
設置期間		平成 22 年 4 月～平成 24 年 3 月	本協同研究委員会では補機を含めた自動車用モータの現状調査を行い, 将来的な自動車用モータロードマップを作成し, 自動車用モータのあるべき姿を明確にする。具体的には多様な評価軸をまとめあげ, モータ種類, 構造から材料, 生産技術を含む現状から将来動向までの調査検討を行う。
委員長名 (所属)		赤津 観 (芝浦工業大学)	
委員会開催頻度		4～6 回/年	
問合せ ・ 公募 受付 先	氏名 (所属)	赤津 観 (芝浦工業大学)	
	電話	03-5859-8207	
	FAX	03-5859-8207	
	E-mail アドレス	akatsu(at)sic.shibaura-it.ac.jp	
応募いただきたい方の 専門分野, 経験など		自動車用モータ設計ならびに研究/開発従事者。モータ材料の研究/開発従事者。	
応募締切		平成 22 年 12 月 31 日	
協同研究委員会の場合の委員の負担			

編集後記

4 月に職場や学校が変わり, 業務や研究の内容を新たにされた会員も多いと思いますが, 2 ヶ月が経過して調子はいかがでしょう。私事ですが小生も 4 月に業務内容が変わりました。焦らず着実に進めていきたいと思えます。

さて, 今月号の表紙ページは, 産業応用部門役員会 総務企画担当の東京大学 大崎博之先生, 千葉工業大学 西田保幸先生に, 平成 22 年度の産業応用部門事業計画について, ご紹介頂きました。是非, ご一読ください。

学界情報では, 2010 年 2 月に米国で開催された APEC 2010 について, 産業技術総合研究所の Simanjorang Rejeki 様よりご紹介頂きました。パワーエレクトロニクスに関連する幅広いテーマで議論がなされた様子がわかります。

研究グループ紹介では, 静岡理工科大学の服部先生より

研究室をご紹介いただきました。”やらまいか”精神の旺盛な遠州地方で, 地元に着した研究を進めている様子うかがえます。

技術開発レポートは, 鹿島建設株式会社の丹羽直幹様から, 建築構造物の「すきま」を利用した電力伝送技術として, たいへん興味深い提案をご紹介頂きました。

8 月の部門大会に関しては, 大会案内と参加申込を掲載しています。会員の皆様の積極的な参加により, 夏の大会を盛り上げましょう。

他にも, 6 月と 7 月に開催予定の産業応用フォーラムの案内や研究会計画等を掲載してありますので, ご一読下さい。

最後になりましたが, 本号作成において, ご多忙中にもかかわらず, 各記事をご執筆頂きました皆様, ならびに担当委員の皆様に, 厚く御礼申し上げます。

エディタ 坂本 潔 (日立製作所)

※ 本文中の E-mail アドレスをご利用になる場合には, “(at)” を “@” に置き換えてください。